

表③ 教職に関する科目（小学校教諭一種）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			開設科目			履修方法
科目等	各科目に含める必要事項	単位数	左に対応する開設授業科目	単位数		
				必修	選択	
第2欄	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	教職原論 初等教育教師論		2	} 選択科目から 2単位以上修得
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）			2	
		進路選択に資する各種の機会の提供等				
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理 教育史・教育思潮概説	2	2	} 選択科目から 4単位以上修得
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	発達心理学 教育心理学	2	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	学校教育制度概論		2	
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 各教科の指導法	教育課程論	2		
			国語科指導法	2		
			社会科指導法	2		
			算数科指導法	2		
			理科指導法	2		
			生活科指導法	2		
			音楽科指導法	2		
			図画工作科指導法	2		
			家庭科指導法	2		
			体育科指導法	2		
	道徳の指導法	道徳教育指導法	2			
	特別活動の指導法	特別活動指導法	2			
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	2			
第5欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	児童生徒指導論	2		
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	児童教育相談の基礎	2		
		進路指導の理論及び方法	キャリア教育指導論	2		
第5欄	教育実習		小学校教育実習Ⅰ	4	2	
			小学校教育実習Ⅱ			
			小学校教育実習事前事後指導	1		
第6欄	教職実践演習	2	教職実践演習（初等教育）	2		
合計		41	合計（27科目）	43	12	履修指定49単位

備考1 履修指定単位数49単位には、選択科目のうちの必修単位数6単位を含む。

2 第2欄『教職原論』及び『初等教育教師論』の授業内容には、「教職の意義及び教員の役割」、「教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）」及び「進路選択に資する各種の機会の提供等」の内容を含む。

3 第3欄『教育原理』の授業内容には、「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」及び「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」の内容を含む。

表④ 教科又は教職に関する科目（小学校教諭一種）

10単位以上修得する必要がありますが、この区分には下記2科目3単位しか設定していません。したがって下記科目を含め、上記②教科に関する科目又は③教職に関する科目の最低修得単位数を超えて履修した科目と併せて10単位以上を修得するものとします。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	開設する授業科目名	単位数		履修方法
			必修	選択	
教科又は教職に関する科目	10単位	介護等体験実習	1		
		初等英語教育通論	2		

表⑤ 教科・教職関係科目の合計表

科目区分	最低修得単位数	設置科目数	単位数	履修指定単位数
教科に関する科目	8単位	10科目	20単位	12単位
教職に関する科目	41単位	27科目	55単位	49単位
教科又は教職に関する科目	10単位	2科目	3単位	3単位
合計	59単位	39科目	78単位	64単位

B 特別支援学校教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）免許状を取得するためには、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の免許状を有し（基礎資格と呼ぶ）、かつ下記の特別支援教育に関する科目を履修することが必要です。

本学においては、小学校教諭一種免許状を基礎資格としています。履修科目及び履修方法は、以下の表①のとおりです。（基礎資格としての小学校関係科目の履修方法は、小学校教育専攻のカリキュラムとは相違点があります。）

表① 特別支援教育に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		最低修得単位数	開設科目			履修方法又は含む領域		
			左に対応する授業科目	単位数			中心となる領域	
		必修		選択				
第1欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育総論 特別支援教育の歴史	2 2				
第2欄	特別支援教育領域に関する科目	16	知的障害の子どもの心理・生理・病理 肢体不自由の子どもの心理・生理・病理 病弱の子どもの心理・生理・病理	2 2 2	知的障害者 肢体不自由者 病弱者	選択科目から4単位以上修得 肢・病		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		知的障害教育Ⅰ 知的障害教育Ⅱ 肢体不自由教育Ⅰ 肢体不自由教育Ⅱ 病弱教育Ⅰ 病弱教育Ⅱ 特別支援教育実践法	2 2 2 2 2 2 2	知的障害者 知的障害者 肢体不自由者 肢体不自由者 病弱者 病弱者 知的障害者			
第3欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目					
			心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	特別支援学校教育課程・授業論	2	LD	視・聴・知・肢・病・重複	
			心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	視覚・聴覚障害教育総論 重複障害・言語障害教育総論	2 2		LD LD	視覚・聴覚 重複・言語
			心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	LD・ADHD等教育総論 自閉症スペクトラム教育総論	2 2		LD LD	LD・ADHD 情緒・LD
第4欄	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導	3 1				
合計		26	合計（19科目）	26	12	履修指定30単位		

備考1 特別支援教育の領域を知的障害者・肢体不自由者・病弱者とし、この領域の免許状とする。

2 履修指定単位数30単位には、選択科目のうちの必修単位数4単位を含む。

3 第3欄『視覚・聴覚障害教育総論』、『重複障害・言語障害教育総論』、『LD・ADHD等教育総論』及び『自閉症スペクトラム教育総論』の授業内容には、「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理」及び「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法」の内容を含む。

C 幼稚園教諭一種免許状

発達支援教育学科の学生で、教育職員免許法に基づく所要の科目の単位及び本学の定める科目の単位を修得し、卒業要件を満たし学士の学位を取得した者が取得できます。

履修科目及び履修方法は、以下の表①～表③のとおりです。

表① 免許法施行規則第66条の6 関係科目（小学校教諭一種免許状の履修方法に同じ。20頁参照）

表② 教科に関する科目（幼稚園教諭一種）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	開設科目			履修方法
		左に対応する開設授業科目	単位数		
			必修	選択	
国語 算数 生活 音楽 図画工作 体育 （これら科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目その他これら科目に準ずる内容の科目を含む。）	6	児童文学演習		2	} 選択科目から4単位以上修得
		幼児・児童音楽演習		2	
		絵本・児童画演習		2	
		玩具・遊具演習		2	
		保育の表現技術（身体表現）	1		
		保育の表現技術Ⅰ（音楽表現）	1		
		保育の表現技術Ⅱ（音楽表現）		1	
		保育の表現技術（造形表現）	1		
		保育の表現技術（言語表現）	1		
		初等国語教育通論		2	} 選択科目から4単位以上修得
		初等算数教育通論		2	
		初等生活科教育通論		2	
		初等音楽教育通論		2	
		初等図画工作教育通論		2	
		初等体育教育通論		2	
合計	6	合計（15科目）	4	21	履修指定12単位

備考 履修指定単位数12単位には、選択科目のうちの必修単位数8単位を含む。

表③ 教職に関する科目（幼稚園教諭一種）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			開設科目			履修方法		
科目等	各科目に含める必要事項	単位数	左に対応する開設授業科目	単位数				
				必修	選択			
第2欄 教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	教職原論		2			
	教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）		初等教育教師論		2			
	進路選択に資する各種の機会の提供等		保育者論	2				
第3欄 教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	幼児教育総論	2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		教育原理	2				
			教育史・教育思潮概説		2			
			発達心理学	2				
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育心理学		2					
	保育の心理学Ⅰ	2						
	障害児保育総論	2						
第4欄 教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	18	保育課程論	2				
	保育内容の指導法		教育課程論		2			
			保育内容総論	1				
			保育内容演習Ⅰ（健康）	1				
			保育内容演習Ⅱ（健康）	1				
			保育内容演習Ⅰ（人間関係）	1				
			保育内容演習Ⅱ（人間関係）	1				
			保育内容演習Ⅰ（環境）	1				
			保育内容演習Ⅱ（環境）	1				
			保育内容演習Ⅰ（言葉）	1				
			保育内容演習Ⅱ（言葉）	1				
			保育内容演習Ⅰ（表現）	1				
			保育内容演習Ⅱ（表現）	1				
保育内容演習Ⅰ（音楽）		1	} 選択科目から 3単位以上修得					
保育内容演習Ⅱ（音楽）		1						
保育内容演習Ⅰ（図画工作）		1						
保育内容演習Ⅱ（図画工作）		1						
保育内容演習Ⅰ（体育）		1						
保育内容演習Ⅱ（体育）		1						
教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法・技術論	2					
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	2	幼児理解と教育相談	2				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法							
第5欄 教育実習		5	保育施設参観実習		1			
			幼稚園教育実習Ⅰ	4				
			幼稚園教育実習Ⅱ		2			
			幼稚園教育実習事前事後指導	1				
第6欄 教職実践演習		2	教職実践演習（幼児保育）	2				
合計			合計（37科目）			36	21	履修指定39単位

備考1 履修指定単位数39単位には、選択科目のうちの必修単位数3単位を含む。

2 第2欄【教職原論】、【初等教育教師論】及び【保育者論】の授業内容には、「教職の意義及び教員の役割」、「教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）」及び「進路選択に資する各種の機会の提供等」の内容を含む。

3 第3欄【教育原理】の授業内容には、「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」及び「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」の内容を含む。

④ 教科又は教職に関する科目

10単位以上修得する必要がありますが、この領域には、科目を設定していませんので、②教科に関する科目及び③教職に関する科目のうち、最低修得単位数を超えて修得した単位をこれに充てることとします。

表⑤ 教科・教職関係科目の合計表

科目の区分	最低修得単位数	設置科目数 単位数	履修指定単位数
教科に関する科目	6単位	15科目 25単位	12単位
教職に関する科目	35単位	37科目 57単位	39単位
教科又は教職に関する科目	10単位		
合計	51単位	52科目 82単位	51単位

D 保育士資格

発達支援教育学科の学生で、保育士コースにおいて所要の科目を履修し、所定の単位を修めた者は、卒業時に保育士資格を取得できます。

a 保育士コースの登録

- ・保育士コースの定員は100名で、2クラス編成となっています。
- ・保育士資格の取得を希望する者は、1年次の授業期間開始前に「保育士コース登録」を行う必要があります。希望者が100名を超えた時は、選考を行います。
- ・1年次入学時以外に登録することはできません。
- ・保育士コースを取りやめる場合には、実習支援室、教務課及び担任に申し出ることが必要です。再び保育士コースに戻ることはできません。

b 保育士コース希望者の選考

保育士コース希望者の選考は、入学者選抜試験の成績、調査書、健康の状況等を総合的に評価して行います。

c 保育士資格取得に必要な授業科目及び最低修得単位数

別表1，2，3のとおりです。